



# Neues in Nara

Nr.84

2023年6月30日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

編集：浅川千尋 ([asakawa@mild.ocn.ne.jp](mailto:asakawa@mild.ocn.ne.jp))

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

## ●行事予定

### 1. 第5回「ドイツ映画鑑賞会」

日程を調整して開催する予定です。

### 2. ビア・アーベント

#### 毎夏恒例の Bier Abend

今年度は、久しぶりに7月30日(日)に大安寺で開催する予定になっております。

### 3. ポスター展「アインシュタインの日本講演旅行」

アインシュタインの来日100周年を記念してポスター展が7月11日～8月20日、奈良図書情報館で開催されます(ドイツ大使館主催、図書情報館共催、当会後援)。

そのほかさまざまな行事が予定されております。会員のみなさまの積極的な参加をお願い申し上げます。また、企画もだしていただければ幸いです。

## ●行事報告

### 1. 2023年度(令和5年度)奈良日独協会総会

5月21日(日) 午後1時から1時50分

会員数96名中 参加28名 委任状42名で成立

久しぶりに対面で年次総会が開催されました。河野会長の挨拶のあと、議長を選出し2022年度事業報告・会計報告、役員選出、2023年度事業計画案、予算案が審議されました。

会員より「理事等の役員が多すぎるのではないのか、もう少し新陳代謝が必要ではないか」という趣旨の質問が出されました。理事から「全員役割分担がされている」という回答がされました。

酒井恵子氏と草野俊典氏の2名の新会員が紹介されました。

### 2. 全国日独協会連合会総会

4月21日に開催されました総会に中祿勝美理事が参加しました。

## ●会員だより (酒井恵子さん)

### 入会にあたって

この度、入会をお許しいただきました酒井恵子と申します。私のドイツとの御縁は、ピアノを習いバッハの音楽に出会ったことに始まります。小学生の頃にバッハのインベンションを練習し始め、その特徴であるポリフォニー(polyphony)すなわち複数の独立した声部が各々の旋律を歌いつつ美しい和音進行を生み出す様に感銘を受けました。

高校時代に第二外国語でドイツ語を学び、夏休みに短期留学も経験しました。大学ではドイツ学を専攻し、卒業論文ではミュンヘンオリンピックを題材にスポーツ界における「過去の克服」について調べ、ナチズム等の歴史と向き合いながら、文化や価値の多様性を尊重し共存しようとする戦後ドイツの多元主義(Pluralismus)に強い印象を受けました。

大学院では教育心理学を専攻し、シュプランガー(E. Spranger)の価値類型論、すなわち人類普遍の価値として理論・経済・審美・宗教・社会・権力の6種を挙げ、そのいずれに重きを置くかにより多様な生の形式(Lebensformen)が成立するとの説に惹かれ、6種の価値志向性を測る心理テストの開発と応用に携わるようになりました。2017年にはオーストリアで自身の研究成果をドイツ語で紹介する機会も得ました。シュプランガーは「自らのささやかな地位にあつてなお文化の全体に対し共同責任のあることを自覚している人間」を「良心的人間」と呼び、その育成こそ教育の使命だと述べています。勤務先の大阪工業大学では教職課程を担当していますが、シュプランガーの言葉は教員養成においても個人生活においても私の指針となっています。(講演のチラシと写真右上が筆者)

**Vortrag**  
Die Messung der persönlichen Werte  
nach der Theorie von Eduard Spranger:  
Die Entfaltung der Persönlichkeit!

Associate Prof. Dr. Keiko Sakai  
Lecturer of  
Associate Prof. Dr. Keiko Sakai is working in the Teaching  
Professor Course at the Osaka Institute of Technology and is  
teacher education for over 15 years. In 1996 she achieved her  
graduate and her master's degree in German studies and educational  
psychology. She graduated from PhD in 2001 at the same university.  
From 1998 to 2002 she had a position as a lecturer in the Master  
Business Course at Osaka Institute of Technology. Dr. Sakai's main  
research interest is studies of personality values being open to the  
research of Eduard Spranger. She also is interested in surveying of  
personality using Japanese metric descriptions.

Dienstag, 16. März 2017,  
19:30 Uhr, 19:30 Uhr  
Hörsaal 1  
11110 Menschenlebensweg, Campus Lienz

Laut Eduard Spranger (1881) beschreibt die Wertorientierung eines  
Menschen dessen Handeln und Denken. Seine so bezeichnete  
eigene Wert- oder Lebensform wird über andere bedienten sein.  
„Jeder Wert ist sehr teuer und.“ über „Jeder Wert geht mit  
meiner Arbeit zusammen.“ Er hat auch „Jeder Mensch hat  
seiner Mutter schenken.“ Diese Gedanken sprachen  
einen tiefen Eindruck bei mir. Ich habe mich gefragt, ob das  
Individuum in der Gesellschaft bestimmen. In Form von dieser  
Philosophie werden die soziale Werte (ökonomisch, ästhetisch,  
ethisch, sozial, politisch und religiös) erklart. Dabei wird ein  
Fragebogen zur Erfassung dieser Werte entwickelt, die die die  
Wertorientierung erogen ausgeführt werden können. Über  
bedeutung der Fragebogen individuell angepasst werden  
einigen Wertorientierung aufzeigen.

Sie messen die nach Möglichkeit mit offenkundigen Verhaltensweisen  
ab, die sich an den Campus Lienz nur angeordnet,  
auf der Höhe der Fragebogenfragen beziehen.  
Die Veranstaltung ist kostenlos.  
Aus organisatorischen Gründen bitten wir um eine  
zeitliche Anmeldung bis spätestens 15. März 2017.  
mailto:kei@cc.linz.ac.at | +43 3304 52700.

eh

Campus Lienz

### 3. 講演会

5月21日総会終了後講演会が開催されました。



午後2時から午後3時まで、天理大学名誉教授・新理事の浅川千尋氏が講演しました。

テーマ「研究回顧—ドイツとの関係を中心に」

大学院時代からドイツ法・ドイツとのかかわりができ、ドイツの環境保護・動物保護を憲法・動物保護法との関係で研究してきたことやドイツのマールブルクでの在外研究・在日大阪・神戸ドイツ総領事の講演会等の取組を話しました。いくつかの質問もいただきました。

なお、講演会終了後河野会長の案内で大安寺の宝物殿を参加者が特別拝観いたしました。

### 4. ベルリン独日協会一行との交流 東大寺大仏台座



5月26日（金）に2007年以来16年ぶりに、ベルリン独日協会の一行10名（溝延輝恵独日協会理事が引率し9名のドイツ人）が大安寺を来訪しました。大安寺では、本堂で河野会長よりお寺の歴史や奈良日独協会創立の由来等の説明がありました。その後昼食をしながら奈良日独協会会員（河野会長夫妻、松本理事夫妻、加藤副会長、浅川理事、小山会員）らと短時間の交流をしました。

その後東大寺大仏殿へ向かい、土井ギーゼラ会員たちと合流し東大寺見学をしました。大仏殿の台座で大仏殿院主森本氏から大仏建立の歴史等を詳しく説明してもらいました。

東大寺には、多くの観光客や修学旅行生が詰めかけていました。ドイツ人一行とは、ドイツ語で会話する機会がもて良い意味での国際交流ができたと思います。車4台でJR奈良駅から大安寺、大安寺から東大寺へとドイツ人一行を案内しました。

今後も日独交流が益々発展することを期待したいです。

### 大安寺本堂でのベルリン独日協会の一行



### 東大寺にてベルリン独日協会の一行と記念撮影



### 編集後記

今号から編集を担当しております浅川です。峯本前編集員のアドバイスを受けながら、貴重な会報（Neues in Nara）の発行に微力ながら貢献していく決意です。よろしく願い申し上げます。

なお、SNSでの情報発信も行っておりますので是非フォローしてください。

Facebookは、**奈良日独協会**（**Japanisch Deutsche Gesellschaft in Nara**）です。

Instagramは、**narajapanischdeutsch**です。

主に奈良日独協会の行事案内やドイツに関わる情報を発信しております。